

○佐野市丸岳地区では、地域の荒廃した森を集約し整備活動を推進中。「湧き水の復活」を活動の象徴的な目標に掲げ、地域内外の若者や中高年と共に活動しながら、里山の豊かさや美しさ、その維持方法を体験プログラムを通じて広く伝える。また、古民家を活用し地産有機農産品を使った食事や民泊を楽しんで頂くとともに地域イベントを通じて里山の価値を再生し人間と自然の共生関係を再構築しつつSDGsを五感を通して学び、これからの生き方を考える場とする。

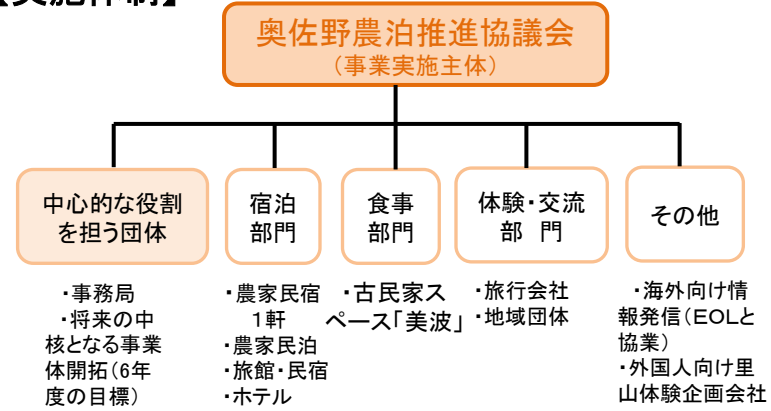


【採択年度】
令和5年度

【事業実施期間】
令和5～6年度



【実施体制】



【特徴的な取組】

○多田町丸岳地区では、地域の山主7名の森林を集約化(全15.2ha)し、各研修のプラットフォームとして6haを整備、3.2kmの作業道の敷設を完了。今後この活動をさらに活発化すべく、「湧き水の復活に残り9haの森林整備と耕作放棄地を減らす」ことを目標とし、専門家を招き、里山に関連する体験や丸太小屋DIY等のプログラムを提供すると共に、協業頂く市民や林業に興味を持つ仲間を増やし林業を生業とする人材育成を目指す。

○6年度は12月より「SDGsを学ぶ多田・里山スクールを開講し6種類のワークショップを立ち上げ、実践を通してSDGsを学べる場所として提供、近隣の高校や大学、インバウンド向けにも活動を展開し地域と関わってもらいグローバルな活性化を図る所存。

【取組内容】

- 【1年目】
- ・地域の将来像についてワークショップを行いながら合意形成
 - ・今後の農泊推進の方向性や体制を策定
 - ・体験プログラム(3種類)、食事のコンテンツ開発に着手
- 【2年目】
- ・空き家の調査、宿泊、レストラン等の事業を行える物件の周辺環境整備と改修計画を検討(複数宿泊施設確保を目指す)
 - ・体験・滞在・交流を促進する農泊運営方法、地産物販、六次化などで収益向上策の具体化を探る
 - ・農泊を発展させる人材の確保・育成(インバウンド体制整備)
 - ・「SDGsを学ぶ多田・里山スクール」(海外向けの情報発信実施)
 - ・<里山で学ぶ>「多田 里山スクール」が開校します！ - エコロジーオンライン



生物多様性プログラム



地域の薬草など食材を活用したメニュー開発



古民家スペース「美波」

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約